

## トルコ為替週報

2023年4月18日 | みずほ銀行欧州資金部

〈過去1週間の動き〉 (4月12日～4月17日)

USD/TRY: 19.2916～19.5662

TRY/JPY: 6.74～6.95 (参照値)

過去1週間のトルコ・リラ相場は対ドルで続落。終値ベースでは緩やかな下落トレンドを辿っているが、日中の値動きを見ると、4月17日のロンドン時間早朝に対ドル19.40前後から19.56まで一時、対ドルで1%近く下落するなど、値動きが荒くなりつつある。5月14日に控える大統領・議会選挙の投票日まで1か月を切り、市場で予想されているリラの値動きの大きさを示すインプライド・ボラティリティー(1か月物)は2022年6月以来の高水準へと押し上げられており、選挙後にリラの値動きが激しくなると市場で見込まれていることがうかがわれる。リラの対ドル相場が緩やかな下落トレンドを辿る一方で、対円相場はドル・円相場が持ち直したことを受けて横ばい圏で推移している。

選挙後のリラ相場の変動につながる要因として、選挙自体の不透明感もさることながら、トルコ当局による政策の持続可能性を意識するべきだろう。先週、先々週の週報で紹介したように、トルコ当局はリラ売り圧力を和らげるために公式・非公式に様々な施策を打っている。具体的には、トレーダーに対し、ドル買いの注文の執行に際し、詳細な説明を逐次求めているとブルームバーグが3月29日に報じているほか、4月7日には預金総額に占めるリラ預金の比率が60%未満の銀行に対し、外貨預金に対して求めている準備金の比率を25%から30%に引き上げるとトルコ中銀が発表している。ここで紹介した施策は一部に過ぎず、選挙後に為替市場への一連の規制措置が緩和されるようであれば、これまで溜まっていたリラ売り/外貨買い需要が解き放たれるリスクがある。選挙のリラ相場への影響について、野党勝利なら中央銀行の独立性の回復と政策金利の大幅引き上げが織り込まれる形でリラ買い、という見方もあるが、世論調査でエルドアン大統領の苦戦が報じられるなかでも投資家がトルコの金融資産の購入に動こうとしないのは、上述の要素が一因であろう。

経済指標では4月12日に2月分の小売売上高が公表された。前年同月比21.5%の増加と堅調な結果であり、同8.2%の減少となった2月分の小売売上高とは対照的である。トルコ統計局が2月6日に発生したトルコ・シリア大地震の影響で一部のデータが取得できず推計に頼っている、と説明している点は意識する必要はあるものの、総じて震災の個人消費への影響は限定的と評価される。また、4月17日に発表された住宅販売件数(3月分)は前年同月比で見れば-21.4%とマイナスだが、前年比較時点の水準が高いことが主因であり、件数自体は10万件越えの堅調な結果であった。

〈過去1週間に発表された主要経済指標等〉

月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
4/12	08:00	小売売上高	2月		21.5%	34.0%
4/17	08:00	住宅販売	3月		-21.4%	-18.0%

(\*予想はブルームバーグ社予想中心値)

〈向こう1週間の見通し〉 (4月18日～4月24日)

USD/TRY: 19.30～19.80

TRY/JPY: 6.70～7.10

向こう1週間のトルコ・リラ相場は、対ドル・対円で、じり安の展開を予想する。基本観として、トルコリラは対GDP比で8%に迫ろうとする経常赤字や、実質政策金利の大幅マイナスを背景とするファンダメンタルズからのリラ売り圧力を、様々な為替取引規制によって押しとどめている状況だと見ている。もちろん、選挙後に金融・財政政策に変化が見られるかはリラ相場にとって重要なポイントだが、トルコ当局の為替市場に対するスタンスも同時に見極める必要があるだろう。経済指標では、4月19日に4月分のインフレ期待や消費者信頼感指数が公表されるが、リラ相場への影響度が大きい指標ではない。

〈向こう1週間に発表予定の主要経済指標等〉

月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
4/19	08:00	12か月先インフレ期待	4月			31.63%
4/19	08:00	消費者信頼感指数	4月			80.1

(\*予想はブルームバーグ社予想中心値)

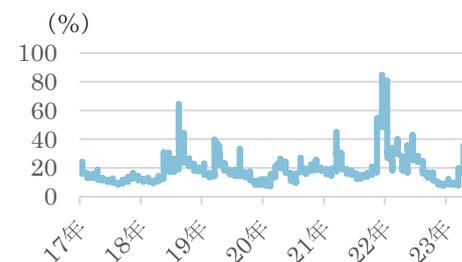
## トルコリラの推移

実線: 対ドルレート(左軸、逆目盛)

点線: 対円レート(右軸)



## トルコリラ 1か月物インプライドボラティリティー



## トルコ 住宅販売件数

前年比(左軸)

件数(右軸)



(資料: トルコ中銀/トルコ統計局/ブルームバーグ)

## 〈文責〉

欧州資金部

シニア為替ストラテジスト

中島 将行

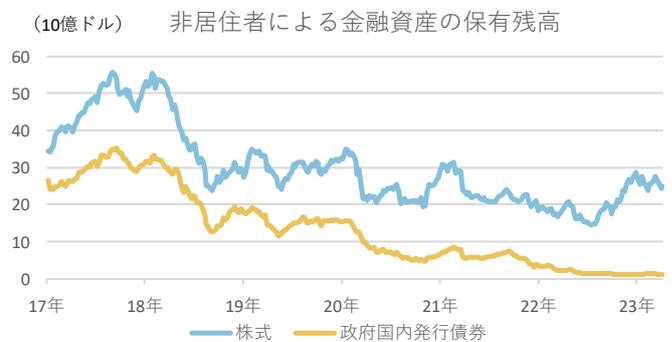
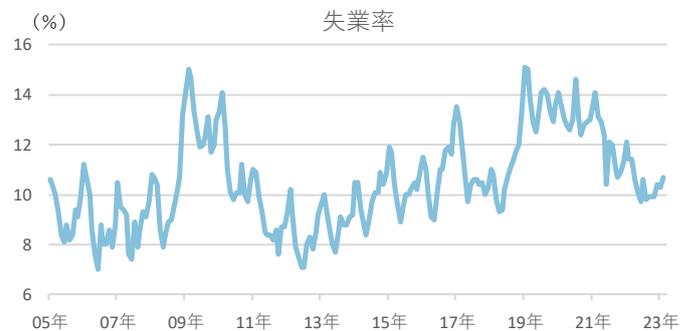
[masayuki.nakajima@mhcb.co.uk](mailto:masayuki.nakajima@mhcb.co.uk)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

## トルコ為替週報

2023年4月18日 | みずほ銀行欧州資金部

## ＜主要経済指標の推移＞



(資料：トルコ中央銀行/トルコ統計局/ブルームバーグ/みずほ銀行)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。